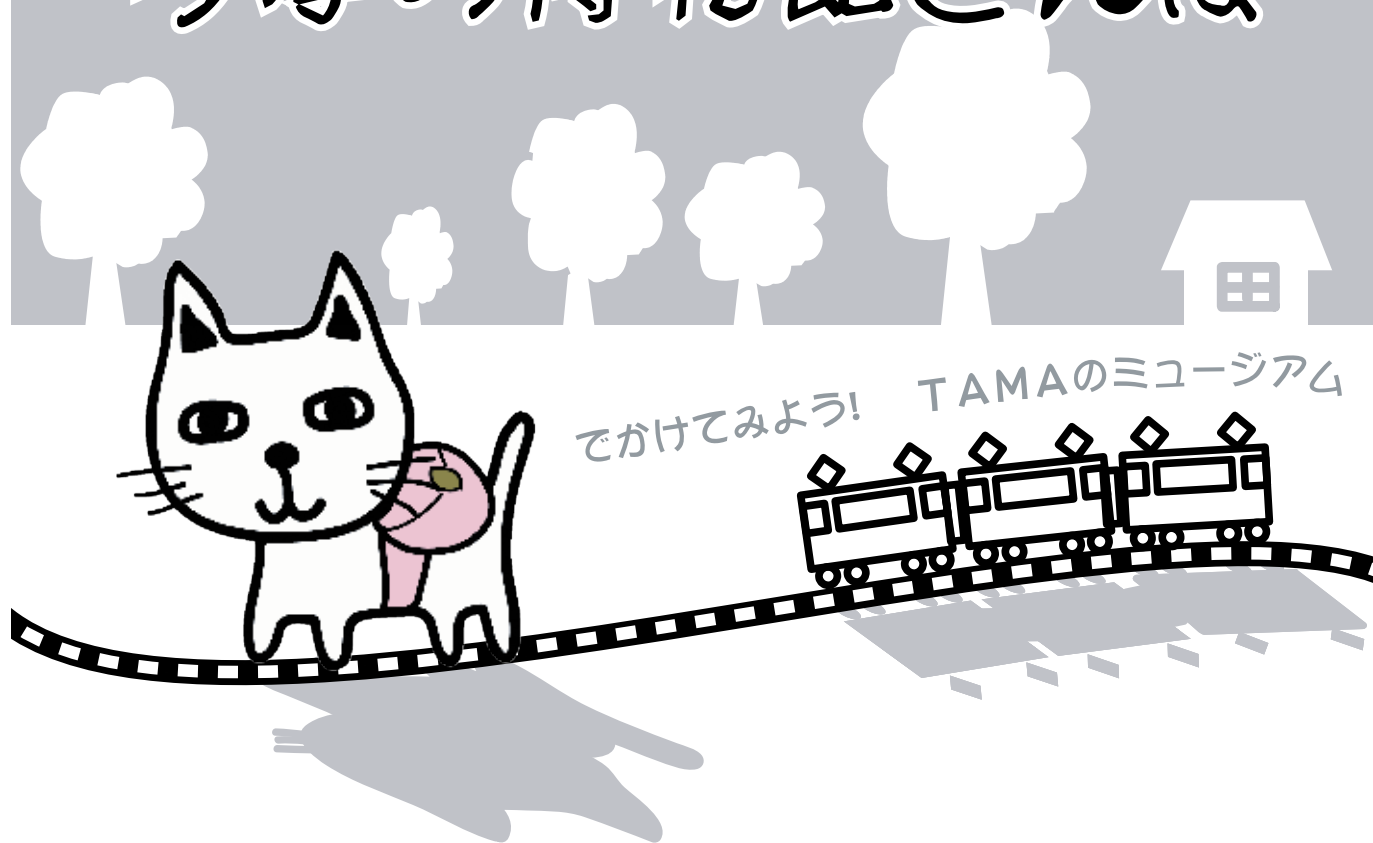


催し物案内2023年度秋・冬号

2023年11月～2024年3月

# 多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会では、公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<https://tamahaku.jp>) やエックス（旧ツイッター）を通じ、さまざまな情報を公開しています。「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。多摩地域の博物館をめぐるしてみませんか！



[HP]

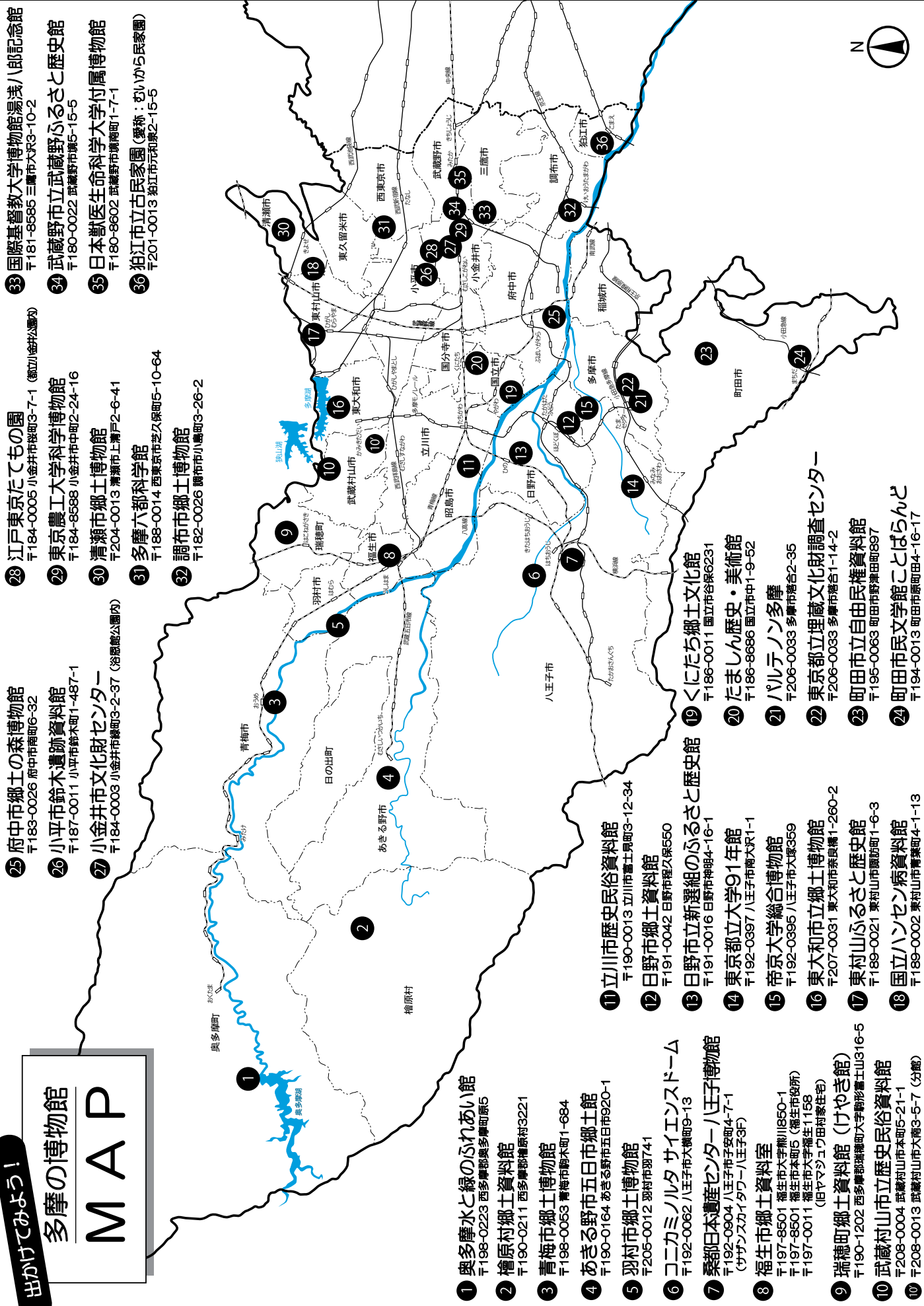


[X]

※諸事情により催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。

出かけよう!

# 多摩の博物館 MAP



- ②⑤ 府中市郷土の森博物館  
〒183-0026 府中市南町6-32
- ②⑥ 小平市鈴木遺跡資料館  
〒187-0011 小平市新木町1-487-1
- ②⑦ 小金井市文化財センター  
〒184-0003 小金井市緑町3-2-37 (裕福館公園内)
- ②⑧ 江戸東京たてももの園  
〒184-0005 小金井市緑町3-7-1 (都立小金井公園内)
- ②⑨ 東京農工大学科学博物館  
〒184-8588 小金井市中部2-24-16
- ③⑩ 清瀬市郷土博物館  
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-6-41
- ③⑪ 多摩六都科学館  
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- ③⑫ 調布市郷土博物館  
〒182-0026 調布市小島町3-26-2
- ③⑬ 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館  
〒181-8585 三鷹市大宮3-10-2
- ③⑭ 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館  
〒180-0022 武蔵野市旗5-15-5
- ③⑮ 日本獣医生命科学大学付属博物館  
〒180-8602 武蔵野市旗南町1-7-1
- ③⑯ 狛江市立古民家園 (登録：むいから民家園)  
〒201-0013 狛江市元和東2-15-5

- ① 奥多摩水と緑のふれあい館  
〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5
- ② 檜原村郷土資料館  
〒190-0211 西多摩郡檜原村322-1
- ③ 青梅市郷土博物館  
〒198-0063 青梅市御木町1-684
- ④ あきる野市五日市郷土館  
〒190-0164 あきる野市五日市920-1
- ⑤ 羽村市郷土博物館  
〒205-0012 羽村市現741
- ⑥ コニカミノルタ サイエンスドーム  
〒192-0062 八王子市大橋町9-13
- ⑦ 桑都日本遺産センター/八王子博物館  
〒192-0904 八王子市安町4-7-1  
(ササノカイトワ/八王子3F)
- ⑧ 福生市郷土資料室  
〒197-8501 福生市大字横川1850-1  
〒197-8501 福生市本町5 (福生市役所)  
〒197-0011 福生市大字福生1158  
(旧ヤマシユウ田村家住宅)
- ⑨ 瑞穂町郷土資料館 (げやき館)  
〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士11316-5
- ⑩ 武蔵村山市立歴史民俗資料館  
〒208-0004 武蔵村山市本町5-21-1  
〒208-0013 武蔵村山市大南3-5-7 (分館)
- ⑪ 立川市歴史民俗資料館  
〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- ⑫ 日野市郷土資料館  
〒191-0042 日野市程久保550
- ⑬ 日野市立新選組のふるさと歴史館  
〒191-0016 日野市海町4-16-1
- ⑭ 東京都立大学91年館  
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- ⑮ 帝京大学総合博物館  
〒192-0395 八王子市大塚359
- ⑯ 東大和市立郷土博物館  
〒207-0031 東大和市赤長橋1-260-2
- ⑰ 東村山ふるさと歴史館  
〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3
- ⑱ 国立ハンセン病資料館  
〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13
- ⑲ くたち郷土文化館  
〒186-0011 国立市谷保6231
- ⑲ たましん歴史・美術館  
〒186-8686 国立市1-9-52
- ⑲ パルテノン多摩  
〒206-0033 多摩市港台2-35
- ⑲ 東京都立埋蔵文化財調査センター  
〒206-0033 多摩市港台1-14-2
- ⑲ 町田市立自由民権資料館  
〒195-0063 町田市野澤町897
- ⑲ 町田市民文学館ことばらんど  
〒194-0013 町田市原町4-16-17

- ⑳ 奥多摩水と緑のふれあい館  
〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5
- ㉑ 檜原村郷土資料館  
〒190-0211 西多摩郡檜原村322-1
- ㉒ 青梅市郷土博物館  
〒198-0063 青梅市御木町1-684
- ㉓ あきる野市五日市郷土館  
〒190-0164 あきる野市五日市920-1
- ㉔ 羽村市郷土博物館  
〒205-0012 羽村市現741
- ㉕ コニカミノルタ サイエンスドーム  
〒192-0062 八王子市大橋町9-13
- ㉖ 桑都日本遺産センター/八王子博物館  
〒192-0904 八王子市安町4-7-1  
(ササノカイトワ/八王子3F)
- ㉗ 福生市郷土資料室  
〒197-8501 福生市大字横川1850-1  
〒197-8501 福生市本町5 (福生市役所)  
〒197-0011 福生市大字福生1158  
(旧ヤマシユウ田村家住宅)
- ㉘ 瑞穂町郷土資料館 (げやき館)  
〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士11316-5
- ㉙ 武蔵村山市立歴史民俗資料館  
〒208-0004 武蔵村山市本町5-21-1  
〒208-0013 武蔵村山市大南3-5-7 (分館)
- ㉚ 立川市歴史民俗資料館  
〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- ㉛ 日野市郷土資料館  
〒191-0042 日野市程久保550
- ㉜ 日野市立新選組のふるさと歴史館  
〒191-0016 日野市海町4-16-1
- ㉝ 東京都立大学91年館  
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- ㉞ 帝京大学総合博物館  
〒192-0395 八王子市大塚359
- ㉞ 東大和市立郷土博物館  
〒207-0031 東大和市赤長橋1-260-2
- ㉞ 東村山ふるさと歴史館  
〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3
- ㉞ 国立ハンセン病資料館  
〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13
- ㉞ くたち郷土文化館  
〒186-0011 国立市谷保6231
- ㉞ たましん歴史・美術館  
〒186-8686 国立市1-9-52
- ㉞ パルテノン多摩  
〒206-0033 多摩市港台2-35
- ㉞ 東京都立埋蔵文化財調査センター  
〒206-0033 多摩市港台1-14-2
- ㉞ 町田市立自由民権資料館  
〒195-0063 町田市野澤町897
- ㉞ 町田市民文学館ことばらんど  
〒194-0013 町田市原町4-16-17

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

<b>1</b>	<b>奥多摩水と緑のふれあい館</b> 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。						
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日）、 12.28～1.4	入館料	無料	☎	0428-86-2731
<p>奥多摩の自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業などの展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <p>●令和5年11月3日（祝）・4日（土） 秋の奥多摩ミニコンサート          ●令和6年2月中旬 日原白著作体験          ●令和6年3月10日（日） 川野の車人形の上演</p> <p>【URL】 <a href="http://www.okutama.gr.jp/">http://www.okutama.gr.jp/</a></p>							

<b>2</b>	<b>檜原村郷土資料館</b> 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。						
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始	入館料	無料	☎	042-598-0880
<p>●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。</p> <p>●特別展「檜原村野鳥写真展」（2.4～3.3） 檜原村に生息する野鳥の写真約30点を展示します。 【URL】 <a href="http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html">http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html</a></p>							

<b>3</b>	<b>青梅市郷土博物館</b> 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、 12.29～1.3	入館料	無料	☎	0428-23-6859
<p>●企画展「青梅の御殿奉公～江戸に上がった女性たち～」(12.16～3.31) 江戸時代、青梅から江戸城などに御殿奉公に上がった女性の手紙や拝領品など関連資料を展示し、彼女たちの当時の暮らしやその後の動向などを紹介します。 ※最新の情報は、青梅市郷土博物館ホームページまたはお電話にてご確認ください。 【URL】 <a href="https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/">https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/</a></p>							

<b>4</b>	<b>あきる野市五日市郷土館</b> 五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法草案関係の資料を展示。						
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始（12.27～1.4）	入館料	無料	☎	042-596-4069
<p>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。</p> <p>●東京文化財ウィーク企画事業 特別展「網代文書」（10.28～11.5）          ●ミニ企画展「郷土の古文書その37 伊勢参宮道中日記（一）」（11月～3月）          ●年中行事（五日市郷土館及び旧市倉家住宅）          七五三展示（11月）、正月飾り（12月～1月）、まゆ玉飾り（1月）、ひな人形（2月～3月）</p> <p>【URL】 <a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</a></p>							

<b>5</b>	<b>羽村市郷土博物館</b> 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00)	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561
<p>●常設展 羽村の自然・風土・歴史・文化に関して、「多摩川とともに」「玉川上水をまもる」「農村から都市へ」「中里介山の世界」の4つのテーマで紹介します。</p> <p>●企画展「むかしの暮らし」（1.4～1.21） 昭和時代に使われていた生活用具等を展示します。昭和初期から現在の暮らしの移り変わりをご覧ください。</p> <p>●季節かざり「お正月かざり」（1.4～1.9） 館内ホールに、実物の大凧・連凧や羽子板等のお正月かざりを展示します。</p> <p>●季節かざり「まゆ玉かざり」（1.9～1.14） 館内ホール及び旧下田家住宅に、小正月行事の「まゆ玉かざり」の実物を展示します。</p> <p>●企画展「ひな人形展」（2.3～3.3） 段かざり、内裏びな等のひな人形を展示します。旧下田家住宅では、ひな人形とお供えを再現します。 【URL】 <a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</a></p>							

6	<b>コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館）</b>				
	プラネタリウムと基礎物理や宇宙を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜9:00～12:00は事前予約団体専用）	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など（春・夏・冬休み期間は無し）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円（プラネタリウム料金別、セット割引有り）
				☎	042-624-3311
<p>●プラネタリウムでは「アンパンマン～ちびおおかみと月のふしぎ」「プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて」「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる!」(~12/28)「ノーマン・ザ・スノーマン ~流れ星のふる夜に」(1/4~)「キトラ古墳壁画～天文図と中国星座の世界」(1/4~)「クレヨンしんちゃん～宇宙からの来訪者」(1/4~8、春休み)を投影。</p> <p>「生解説プラネタリウム 星空散歩」季節の星座や天文現象を解説。(第二日曜)</p> <p>「全編生解説プラネタリウム」10～12月のテーマは「アンドロメダ座」。1月から新テーマ(第四日曜)</p> <p>「トワイライトプラネタリウム」月1回土曜日の午後6時に投影「みずものがたり」11.18、12.9(1月から新番組)</p> <p>「星空観望会」11.25(土)「月、木星、土星」</p> <p>「星空コンサート」6.3(土)「曲目未定」(予約制(HPから申込))</p> <p>●土日祝、冬休み、春休みには親子で楽しめる工作教室などを開催。(当日先着順または予約制(HPから申込))</p> <p>【URL】<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</a></p>					

7	<b>桑都日本遺産センター 八王子博物館</b>				
	日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。				
開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料
				☎	042-622-8939
<p>桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）は、都内で唯一の「日本遺産」に認定されたストーリー、「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を紹介しています。桑都と呼ばれる八王子の魅力にあふれる、市内各地の文化財へあなたを誘います。</p> <p>●企画展「桑都はちおうじ絵巻」(10.7～12.17)</p> <p>「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の開催に合わせて、日本遺産のストーリーのテーマを象徴する高尾山の錦絵や八王子織物、『桑都日記』などを展示します。</p> <p>●コーナー展「はちおうじ物語の原始古代～東京文化財ウィーク関連展示～」(10.7～12.17)</p> <p>市内で発掘された土器やガラス小玉・瓦などを展示して、宇津木向原遺跡や船田・北野石器時代遺跡、谷野瓦窯跡を紹介します。</p> <p>●企画展「はちはくでお正月（仮）」(12.23～1.28)</p> <p>八王子車人形の「三番叟（さんばそう）」の衣裳、羽子板、生糸商標のほか、おめでたいものが大集合します。また、館内で双六や福笑いなどのお正月あそびもお楽しみいただけます。</p> <p>●企画展「未来への贈り物～令和4年度寄贈資料展～」(2.3～3.24)</p> <p>市民のみなさんから寄贈される資料は、八王子の歴史文化を未来へつなげるための宝物です。令和4年度に寄贈された「はちおうじ」駅名標やお宮参りの着物などを展示・公開します。</p> <p>●紙芝居の上演会</p> <p>ガイドボランティアが製作した紙芝居を上演します。「八王子城主北条氏照」(11.26)、「松姫ものがたり」(12.24)、「八王子の久保長安」(1.28)、「八王子城主北条氏照」(2.25)、「日光と千人同心」(3.24)</p> <p>【URL】<a href="https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html">https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html</a></p>					

8	<b>福生市郷土資料室</b>				
	福生を中心とした地域の多摩の歴史・民俗・自然を紹介します。(※令和6年1月24日リニューアルオープン)				
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始、展示替え期間	入館料	無料
				☎	042-530-1120
<p>福生市郷土資料室は、空調設備等改修工事のため休館中です。再開館は、令和6年1月24日となります。展示内容を大幅に変更して、皆様のご来場をお待ちしています。</p> <p>●リニューアルオープン記念企画展示</p> <p>「赤羽刀と江戸の刀剣」(1.24～4月中旬) 福生市郷土資料室で所蔵する刀剣を紹介する展示を行います。</p> <p>●市役所出張展示</p> <p>「福生の学校展」(9.11～11.25) 福生市立福生第一小学校が開校150周年を迎えるにあたり、福生市内の学校の歴史を振り返る展示を行います。</p> <p>「ミキノクチ展」(11.27～2.3) 福生市内で現在も制作されているお正月飾りの「ミキノクチ」を紹介する展示を行います。</p> <p>「福生思い出写真館－昭和の風景編－」(2.5～4月中旬) 福生市郷土資料室で所蔵する、明治から昭和60年代にかけて、福生市内で撮影された写真を紹介する展示を行います。</p> <p>●旧ヤマジウ田村家住宅主屋季節展示</p> <p>「くらしのうつりかわりと暖をとる道具展」(1.20～3.20) 小学生の学習単元に合わせ、道具の変遷を伝える道具と、冬の暮らしを伝える道具の展示を行います。</p> <p>「ひな飾り」(2.3～3.20) 桃の節句に合わせて、旧ヤマジウ田村家住宅に受け継がれてきたひな飾りを期間限定で展示します。</p> <p>※このほか、旧ヤマジウ田村家住宅ギャラリーでは、窪田成司氏による記憶画の展示を季節ごとに入れ替えながら行っています。</p> <p>【URL】<a href="https://www.museum.fussa.tokyo.jp">https://www.museum.fussa.tokyo.jp</a></p>					

9	<b>瑞穂町郷土資料館（けやき館）</b>					
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることがあります）	☎ 042-568-0634
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「オオタカ－鷹とその文化－」（10.21～1.8） 自然豊かな瑞穂町は、江戸時代には尾張藩の鷹場の一部でした。展示では鷹場の歴史について、鷹を飼育・調教して鷹狩りをする鷹匠の活動や道具、狭山丘陵のオオタカの生態について紹介します。</li> <li>●企画展「みずほ染め織り作品展」（10.23～11.26） 瑞穂町の伝統的な絹織物である「村山大島紬」を題材に、機織・染色を体験学習した「みずほはたおり探検隊」とはたおり探検隊を卒業し、より深く機織と染色を学習している「みずほ染織伝承会」の作品を展示します。</li> <li>●企画展「ひなまつり展 2024」（2.3～3.5） 瑞穂町や周辺に伝わるひな人形やひなまつりにまつわる習慣などを紹介します。</li> </ul>						
【URL】 <a href="https://mizuhokyodo.jp">https://mizuhokyodo.jp</a>						

10	<b>武蔵村山市立歴史民俗資料館 分館</b>					
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。武蔵村山の戦争資料をもとに戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	本館：第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3 分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎ 本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展：丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～</li> <li>●特別展「武蔵村山の遺跡」（12.9～3.20）</li> <li>●年中行事展「正月飾り」（12.16～1.14）</li> <li>●年中行事展「桃の節供」（2.3～3.3）</li> <li>●歴史講座「武蔵村山の遺跡」（1.27）</li> <li>●歴史講座「武蔵村山の戦争（仮）」（3月予定）</li> </ul> 分館： <ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展：戦時中（アジア・太平洋戦争）の武蔵村山</li> </ul>						
【URL】 <a href="http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html">http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html</a>						

11	<b>立川市歴史民俗資料館</b>					
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-525-0860
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。</li> <li>●企画展「街のかたち—立川・砂川合併 60 年—」（10.24～12.10） 立川市と砂川町が合併して60年になることを記念し、その経緯や立川市の発展について当時の資料を展示し紹介します。</li> <li>●写真展「なつかしの立川—古写真からみる街の風景—」（12.5～2.18） 年明けに始まる企画展「暮らす—むかしの道具たち—」に先行して、立川の昔なつかしい風景を写真で紹介します。</li> <li>●企画展「暮らす—むかしの道具たち—」（1.16～2.18） 人々がむかし使用していた暮らしの道具を展示します。</li> <li>●ミニ企画展「桃の節句」（1.30～3.3） 市民のみなさまから寄贈されたひな人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。</li> <li>●巡回展「砂川の歴史と文化（仮）」（3.12～3.31） 現在建替え中の砂川学習館で展示していた資料など、立川市域北部にあたる砂川地域の歴史や文化を伝える資料を巡回展示します。</li> </ul>						
【URL】 <a href="http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html">http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</a>						

12	<b>日野市郷土資料館</b>					
	日野の歴史・民俗・自然と幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-592-0981
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「秋季企画展 中世瓦が語る寺と神社～日野の真慈悲寺と百草八幡神社～」（10.7～1.14）</li> <li>●企画展「（仮）収蔵資料展」（1.20～3.31）</li> </ul> ※詳細は館HPをご確認ください。						
【URL】 <a href="https://www.city.hino.lg.jp/museum/index.html">https://www.city.hino.lg.jp/museum/index.html</a>						

**13 日野市立新選組のふるさと歴史館** 土方歳三・井上源三郎のふるさと日野で新選組や幕末維新、甲州道中などに関する展示を行っています。

開館時間	9:30～17:00 (最終入館は16:30)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、 12.29～1.3	入館料	大人200円、小・中学 生50円	☎	042-583-5100
------	----------------------------	-----	------------------------------	-----	---------------------	---	--------------

●特別展 日野市市制施行60周年 巽聖歌没後50年記念 日野市・紫波町連携事業  
「童謡詩人 巽聖歌～児童文学に生きた、ひとすじの道～」(10.7～12.10)  
●特別展「(仮)結成160年浪士組展」(12.16～2.25)  
●第17回 新選組書展(3月:詳細日程未定)  
※詳細は館HPをご確認ください。 【URL】<https://www.city.hino.lg.jp/shinsenr/> 【X(旧Twitter)】@shinsenr

**14 東京都立大学91年館** 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。

開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・ 春季休業期間ほか(臨時休館あり)	入館料	無料	☎	042-677-1111 内線2041
------	-------------	-----	-------------------------------------	-----	----	---	------------------------

●常設展  
本学内の7分野(動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学)が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。東京都立大学の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介します。 【URL】<https://kyomu.jim.tmu.ac.jp/kyousyoku.html>

**15 帝京大学総合博物館** 帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	日曜日、祝日、創立記念日、臨時 休館日	入館料	無料	☎	042-678-3675
------	----------------------------	-----	------------------------	-----	----	---	--------------

●ゼミ展「20円で繋ぐ未来」(10.06～11.20)  
主催:永井リサ(経済学部経済学科 講師)ゼミ  
概要:国際NPO法人Table For Twoの提供するTFTプログラムに参加し、約2年で2065食の学校給食費を途上国児童へ贈った同ゼミ活動成果と学内外へ広く発信する展示です。  
●クラス展「安らぎの場の展示会ー障がい者が見る、あなたの知らない世界ー」(11.04～12.02)  
主催:「ソーシャルビジネス実習」(李永淑(文学部社会学科 准教授)担当クラス)多摩草むらの会チーム  
概要:心に病を持つ精神障がい者が安心して生活できるよう様々な支援事業を展開する、NPO法人多摩草むらの会と連携し、同会のメンバーさん(利用者)たちの作品を通して同会活動や精神障がいを抱える人の魅力をご紹介します。  
※詳細・その他展示は館HP・SNSでご確認ください。 【URL】<http://teikyo.jp/museum/>

**16 東大和市立郷土博物館** 東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。  
プラネタリウムクリエイター大平貴之氏の投影機メマスターが評判。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)	☎	042-567-4800
------	------------	-----	------------------------	-----	--------------------	---	--------------

●プラネタリウム秋番組(9.16～12.3)/プラネタリウム冬番組(12.9～3.10)/プラネタリウム春番組(3.16～)  
●企画展示「吉岡堅二展」(9.23～11.5)  
●その他各種講座を随時開催  
●旧日立航空機株式会社変電所一般公開(毎週水・日曜日)10:30～16:00  
【URL】<https://www.city.higashiyamato.lg.jp/bunkasports/museum/index.html>

**17 東村山ふるさと歴史館** 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。

開館時間	9:30～17:00 (入館は16:30まで) ※八国山たいけんの里も同	休館日	月・火曜日(祝日の場合は開館し、 その翌日以降の平日が休館) ※八国山たいけんの里も同	入館料	無料 ※八国山たいけんの里も同	☎	042-396-3800 042-390-2161
------	--	-----	---	-----	--------------------	---	------------------------------

●年末年始の休館(12.29～1.4) ※ただし、八国山たいけんの里は1.4から開館します。  
●企画展「神社に奉納された絵馬」(10.7～11.27)  
市内の神社より絵馬類をお借りし、普段みることのできない絵馬を間近にご覧いただける展示です。見学会「富士塚を学ぶ」(10.14)事前申込、展示解説(①10.29、②11.19)申込不要。  
●小学校社会科見学対応展示「むかしの暮らしと道具」(1.11～3.8)  
小学3年生の社会科見学に対応して、「電気・ガス・水道のないころの暮らし」「高度経済成長期のころの暮らし」に関する道具類などを展示します。会期中の午前中は、小学生が団体で見学している旨、ご了承ください。  
●東村山考古学講演会「縄文人の食料事情(仮)」(第1回(1月)、第2回(2月)、第3回(3月)予定)  
土器付着炭化物の分析などから分かる、縄文時代の食料についての講演会を開催します。詳細はウェブサイトでご確認ください。  
◆東村山ふるさと歴史館 【URL】<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/>  
◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 【URL】<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/>

18

**国立ハンセン病資料館**

ハンセン病問題に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。

開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、 年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎	042-396-2909
------	----------------------------	-----	--------------------------------	-----	----	---	--------------

## ●企画展「らい予防法闘争」七〇年—強制隔離を選択した国と社会—(～12.10)

「らい予防法闘争」は、ハンセン病療養所入所者に被害を与えてきた「癩予防法」を、基本的人権を尊重する法律に改正しようとした入所者自身の運動です。しかしその要求を退ける形で、患者の強制収容などの条文がある「らい予防法」が1953(昭和28)年8月15日に公布・施行されました。この企画展では、当時の新聞記事、政府担当者や国会議員の発言などをもとに、国と社会の側から「らい予防法闘争」を振り返ります。関連イベントとして、担当学芸員によるギャラリートーク、講演会を開催します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

## ●「ハンセン病と人権」セミナー(1月27日(日)14:00～15:30)

ハンセン病問題をこれまで教育の場で実践的に取り上げてきた江連恭弘氏(法政大学第二中・高等学校教諭)からお話いただきます。講演後は、元生徒の方々とトークセッションがあります。会場(定員100名)とオンラインでの参加が可能です。(事前申込不要)

【URL】<http://www.nhdm.jp/>

19

**くにたち郷土文化館**

国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2・4木曜日(祝日の場合は翌日)、 12.28～1.3	入館料	無料	☎	042-576-0211
------	----------------------------	-----	---------------------------------	-----	----	---	--------------

## ●秋季企画展「くにたちの小学校」(10.28～12.10)

国立市内の小学校について、小学校ができる前の寺子屋などの教育活動から、明治6(1873)年の潤沢学舎(現・国立第一小学校)開校を経て、昭和53(1978)年に国立第八小学校が開校するまでの歴史を紹介します。

## ●民具案内関連企画展「むかしのくらし展」(1.12～3.10)

明治時代から昭和にかけての明かりや暖房、洗濯の道具など、時代と共に変化してきた生活の道具を展示します。コーナー展では、様々な“しごと”にまつわる道具について紹介します。

## ●季節の飾り付け「ひな人形飾り」(2.10～3.13)

くにたち郷土文化館と国立市古民家に、七段飾りのひな人形を展示します。

【URL】<https://www.kuzaidan.or.jp/province/>

20

**たましん歴史・美術館**

多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日、年末年始(12.28～ 1.4)	入館料	100円 ※中学生以下無料	☎	042-574-1360
------	-----------------------------	-----	----------------------------	-----	------------------	---	--------------

たましん歴史・美術館(国立)

●「東洋古陶磁展～コレクションでたどる東洋のこころ～」(11.25～3.17) たましんコレクションの中から中国・朝鮮・日本の古陶磁を紹介いたします。

たましん美術館(立川)

●「五美大版画教員展 版の実験場 プリントアートの現在地」(10.7～10.29/11.4～11.26/12.2～12.24)

●「邨田丹陵—時代を描いたやまと絵師」(1.13～2.18/2.24～3.31)

※展示内容、会期は変更となる場合があります。

※詳細は館HPでご確認ください。

【URL】<https://www.tamashinmuseum.org/>

21

**パルテノン多摩**

地域まるごと博物館のコアとして多摩市と多摩ニュータウンを自然と歴史の視点で紐解く。

開館時間	10:00～17:30	休館日	館の休館日に準ずる(月2,3日と年末年始)	入館料	常設展は無料	☎	042-375-1414
------	-------------	-----	-----------------------	-----	--------	---	--------------

●企画展「多摩ニュータウンの色」(11.23～2024.5(予定)) 風景を構成する要素の中から、建物の色に注目し、市民有志とともに多摩ニュータウンの集合住宅の色彩調査を実施。その成果をもとに、多摩ニュータウンの特徴を色から考える展示をおこないます。

●廻廊展示・市民学芸員企画「橋 たましのはしからはし」(開催中～12.25(予定)) 市民学芸員が市内の橋を調査した成果をまとめた冊子を刊行。その内容をパネルで紹介いたします。

●廻廊展示・多摩フクロウの会連携展示「多摩で出会った野鳥たち」(2024.1.5～2.5) 多摩市やその近隣地域の野鳥を写真で紹介いたします。

●古文書から歴史を読む【多摩地域編】※オンライン受講枠あり(2024.2.8、15、22、29(予定)) 講師:岩橋清美氏(募集期間12月中)

【URL】<https://www.parthenon.or.jp/>

※事業の詳細はパルテノン多摩HPをご覧ください。

【X(旧Twitter)&amp;Instagram ID】@par\_tama\_museum

【Facebook】<https://www.facebook.com/25thparthenon>

22	<b>東京都立埋蔵文化財調査センター</b> 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。						
	開館時間	9:30～17:00 (11～2月は遺跡庭園のみ16:30まで)	休館日	年末年始(12.29～1.3) 臨時休館(10.27・11.27・2.5) 展示替え(3.8～3.19)	入館料	無料	☎ 042-373-5296
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展示「多摩新街遺跡切抜帖—新聞にのった遺跡たち—」(3.21～3.7)</li> <li>●年中行事</li> <li>11月 考古学講座(11.23)</li> <li>12月 遺跡庭園解説会(12.2)、企画展示解説会⑤(12.9)、文化財講演会(考古学全般)②(12.9)</li> <li>1月 文化財講演会(考古学全般)③(1.20)</li> <li>2月 映像上映会②(2.3)、文化財講演会(企画展示関連)③(2.17)</li> <li>3月 遺跡発掘調査発表会2023(3.20)、企画展示解説会⑥(3.23)</li> </ul> <p>※申込方法、締切など詳細はホームページをご覧ください。 【URL】<a href="https://www.tomaibun.jp">https://www.tomaibun.jp</a>【X(旧Twitter)】<a href="https://twitter.com/tokyo_maibun">https://twitter.com/tokyo_maibun</a></p>							

23	<b>町田市立自由民権資料館</b> 多摩地域・武相地域の自由民権運動と町田の歴史を紹介。						
	開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料	☎ 042-734-4508
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民協働展「市民の歴史探求事始め—町田自由民権カレッジ4期生の成果—」(2.3～3.3)</li> </ul> <p>2022年3月に卒業した「町田自由民権カレッジ」4期生が、各自卒業論文のテーマをベースに、卒論で比較検討した史料を展示しながら、その内容をご紹介します。 【URL】<a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html</a> 【X(旧Twitter)】<a href="https://twitter.com/machida_minken">https://twitter.com/machida_minken</a></p>							

24	<b>町田市民文学館ことばらんど</b> 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介						
	開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)、毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)、年末年始(12.29～1.4)	入館料	無料(秋の企画展は有料)	☎ 042-739-3420
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「生誕100年 遠藤周作展—ミライを灯すことば—」(10.21～12.24)【観覧料有料：一般600円／大・高校生300円】</li> </ul> <p>20余年を町田市で過ごした町田ゆかりの作家であり、『海と毒薬』『沈黙』などの代表作のほか、「狐狸庵先生」として多くの人に親しまれた遠藤周作。本展では、人間の弱さに寄り添うまなざしや多様性への理解が込められた作品を現代的な視点で新たに読み直し、心に寄り添うメッセージを届けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「少女たちのお手紙文化 1890-1940 展」(2024.1.20～3.24)</li> </ul> <p>明治・大正・昭和の時代に少女たちが実際に使っていた、封筒や便箋などのお手紙道具、手紙の用例集、文通の場となった少女雑誌などを通して、近代日本において少女たちが担ってきたお手紙文化を振り返ります。 【URL】<a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html</a> 【X(旧Twitter)】<a href="https://twitter.com/machida_kotoba">https://twitter.com/machida_kotoba</a></p>							

25	<b>府中市郷土の森博物館</b> 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。 ※本館(プラネタリウムを含む)は令和5年9月から10か月程度閉鎖中						
	開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	11月：月曜,16,17 12月：月・火曜,29～31 1月：1～3,8を除く月・火曜 3月：11,12,18,25	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料	☎ 042-368-7921
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「小学校でちょっとむかしの暮らし」(11.12～3.3)</li> </ul> <p>園内に移築・復元された小学校で、府中で使われていたちょっとむかしの生活道具から、暮らしのうつりかわりを紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●復元建物展示「行在所になった府中の大店」(～3.17予定)</li> </ul> <p>明治天皇の休憩所・宿所にもなった府中宿の商家「旧田中家住宅」を紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「＼おいでよ／宇宙わくわくイベントベース」(～3.3)</li> </ul> <p>プラネタリウムがお休みの間、子どもから大人まで楽しめる星や宇宙に関するイベントを毎週開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●梅まつり(2.3～3.3)</li> </ul> <p>ピンクや赤、白の美しい花とやさしい香りに園内が包まれます。期間限定で梅園のライトアップも実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出張展「昆虫魅ようぜ！」(～12.10)</li> </ul> <p>府中駅前「ミッテン府中」にて、府中に生息する昆虫の標本を展示。</p> <p>※改修工事にもない、本館(展示室・プラネタリウム等)は令和5年9月から10か月ほど閉鎖中です。園内はご利用できます。ただし今後、開館スケジュールを変更する場合があります。 【URL】<a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</a>【X(旧Twitter)】<a href="https://twitter.com/kyodo_no_mori">https://twitter.com/kyodo_no_mori</a></p>							



26	<b>小平市鈴木遺跡資料館</b>					
	日本を代表する旧石器時代遺跡である国史跡「鈴木遺跡」から出土した貴重な旧石器を展示・公開しています。					
開館時間	10:00～16:00	休館日	月・火・木・金曜日、年末年始(12.27～1.5)	入館料	無料	☎ 042-323-2233
<p>●常設展示 国史跡「鈴木遺跡」は、都内最大規模の旧石器時代遺跡です。出土した旧石器の分析の結果、約2万2千年間にも及ぶ日本の後期旧石器時代初めから終末まで12の文化層の石器群が存在することが判明し、日本旧石器時代の移り変わりを明らかにしたことで名高い遺跡です。常設展示では、各時期ごとの石器群を古い方から年代順に展示しています。また、数多く出土した黒曜石も時期と産地ごとに一目でわかるように分類して展示しています。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html">https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html</a></p>						

27	<b>小金井市文化財センター</b> 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館期間(3.20～3.24、10月下旬)、年末年始(12.29～1.3)	入館料	無料	☎ 042-383-1198
<p>●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。</p> <p>●名勝小金井(サクラ) 名勝指定100周年記念事業(2023.10～2025.4)</p> <p>●企画展「明治の旧公園」(～12.28) 明治時代の公園を初公開。土地区画の変更が公園に直接書き足されていて、まちの変遷を追えます。</p> <p>●文化財講演会「文化財としての玉川上水・小金井桜と地域の景観」(12.9) 史跡玉川上水・名勝小金井(サクラ)の景観上の意義、文化財活用や景観デザインの観点を専門家がお話しします。</p> <p>●季節展「名勝小金井桜」(3月下旬～) 名勝小金井(サクラ)の歴史を錦絵や古写真で紹介</p> <p>【URL】 <a href="https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html">https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html</a></p>						

28	<b>江戸東京たてもの園</b>					
	都内の歴史的建造物を移築、復元・保存・展示し、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。					
開園時間	4～9月:9:30～17:30 10～3月:9:30～16:30 (入園は閉園の30分前まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌平日) ※2024.3.18・25は臨時開園 年末年始(12.25～2024.1.1)	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎ 042-388-3300
<p>●展示室 「江戸東京たてもの園開園30周年記念特別展 江戸東京博物館コレクション展～江戸東京のまちづくり～」(～12.17) 「江戸東京たてもの園開園30周年記念特別展 江戸東京博物館コレクション展～江戸東京の暮らしと乗り物～」(3.23～7.7)</p> <p>●秋冬の催し 「夜間特別開園 紅葉とたてものライトアップ」(11.25・26) 「江戸の正月を楽しもう」(1.2・3) 「成人の日はたてもの園へ」(1.8) 「たてもの園フェスティバル」(3.27・28) 「綱島家年中行事」大根干し(11月最終週～12月下旬)、小正月繭玉飾り(1.9～1.14)、節分(2.3)</p> <p>●定例の催し ミュージアムトーク(11.25、12.23、1.27、2.24、3.23) 伝統工芸の実演(11.11・12 江東区、12.9・10 中野区、1.13・14 多摩地区、2.10・11 大田区、3.9・10 板橋区) ※ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。 【URL】 <a href="https://www.tatemonoen.jp/">https://www.tatemonoen.jp/</a></p>						

29	<b>東京農工大学科学博物館</b>					
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。					
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日・月曜日、祝日、5.31(創立記念日)、年末年始等(12.28～1.3)	入館料	無料	☎ 042-388-7163
<p>●企画展「タイガー計算機展～西村コンピュータコレクションより～」(11.11～6.1) 今回、東京農工大学科学博物館では大学所蔵の200台を超える機械式計算機資料に着目し、資料公開をする運びとなりました。最も多く所蔵されている機種はタイガー計算機です。2023年はタイガー計算機の1号機発売から100年という節目でありタイガー計算機をはじめとするコレクションを公開するほか、操作を体験できる実機のハンズオンコーナーを設けています。</p> <p>●友の会作品展(2/3～2/10(※2/5(月)休館日)) 第40回サークル作品展を行います。絹・藍染・織物・型絵染・手紡ぎ・組ひも・ボビンレース・わら工芸・ひも結び・紬瑠(つる)かご、全10サークルの作品を展示致します。 ※都合により休館日が変更される可能性があります。詳細はHP、Twitterでご確認ください。【URL】 <a href="http://www.tuat-museum.org/">http://www.tuat-museum.org/</a></p>						

**30 清瀬市郷土博物館** 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3 ※1.3まで一部休室	入館料	無料	☎	042-493-8585
------	------------	-----	-----------------------------------	-----	----	---	--------------

7.1～工事のため一部休室。11.21～新常設展示プレオープン。1.4～全面オープン。

- 企画展 「気象衛星センター展（仮称）」（2.1～2.29）  
企画展関連イベントは記念講演会や気象衛星センター見学会を実施予定。
- 企画展 「第39回清瀬美術家展」（11.21～12.3）
- 企画展関連イベント ワークショップ（11.26）
- テーマ展示 「博物館所蔵地図の世界」（11.21～12.28）「あの頃の清瀬 昭和の清瀬（仮称）」（1.14～3.31）
- 年中行事 まゆ玉飾り（1.13）節分の豆まきとやっかがし（2.3）
- 事業 自然セミナー（11.22/2.24）しめ縄作り講習会（12.10）ミュージアムシアター（2.22/3.24）自然・野鳥観察会（1.28）
- 先人の知恵に学ぶシリーズ 藍染教室（3.22）  
ほか、歴史講座や文化財散歩など随時開催中。詳細は清瀬市郷土博物館ホームページへ。  
【URL】 <http://www.museum-kiyose.jp/>

**31 多摩六都科学館** 世界最大級のプラネタリウムドームと5つの展示室がある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30～17:00（入館は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始（12.28～1.3）、その他機器整備の休館あり（1.9～12.15～19）	入館料	大人520円、小人（4歳～高校生）210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎	042-469-6100
------	------------------------	-----	--	-----	--	---	--------------

- 冬の特別イベント「ロクトロボットパーク」（12.23～1.8）  
きみも動かせるホビーロボット大集合！あそんで、つくって、考えて、ものづくりと技術がぎゅぎゅつと詰まった10日間。みんなで熱く楽しもう！
- 大人向けプラネタリウム（11.22、12.20、12.24、1.31、2.25、2.28、3.13）  
科学に限らず、文化やアートなど様々な視点から星空を語る、ちょっと特別なプログラムです。投影テーマは毎月変わります。  
※1.13、14、20、21はメンテナンスのためプラネタリウム・大形映像は休止  
【URL】 <https://www.tamarokuto.or.jp>

**32 調布市郷土博物館** 原始古代から現代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、12.29～1.3、館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	---------------------------------	-----	----	---	--------------

- 企画展「発掘された染地遺跡～多摩川低地のムラ～」（10.28～12.3）  
染地遺跡第128地点の調査成果を中心に、これまでの染地遺跡の発掘調査から多摩川低地のムラの様子を紹介します。
- 郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」（12.23～5月中旬）  
わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。  
【X(旧Twitter)】 [https://twitter.com/chofu\\_museum](https://twitter.com/chofu_museum)  
【URL】 <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/>

**33 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館**  
初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	13:00～17:00（1/9～3/14の毎週火曜・水曜・木曜のみの限定開館）	休館日	1/9～3/14の毎週火曜・水曜・木曜以外は休館（11/10～1/8と3/15～4/8は展示替え及び年末年始休暇のため休館）	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	---	-----	--	-----	----	---	--------------

- 特別展「円の競演 鐔と絵皿」（9.12～11.9） 毎週火曜 / 水曜 / 木曜日 13:00～17:00 の限定開館。
- 特別展「型紙 精美なる技」（1.9～3.14） 毎週火曜 / 水曜 / 木曜日 13:00～17:00 の限定開館。
- ランチタイムトーク「私とICU」（10.24） 本学教授陣をゲストスピーカーに迎え、往時の思い出を聞く第七弾。Zoomミーティングにて開催。
- 第120回公開講座「型紙の歴史と展開（仮）」（2.10） 生田ゆき氏（文化庁文化財調査官）による講演。Zoomウェビナーにて開催（視聴無料・要予約）。  
【URL】 [https://subsites.icu.ac.jp/yuasa\\_museum/](https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/) 【X(旧Twitter)】 [https://twitter.com/ICU\\_museum](https://twitter.com/ICU_museum)  
【YouTube】 <https://www.youtube.com/channel/UCg4-j0CyCngzMGkfHbKdJg/> 【Instagram】 [https://www.instagram.com/icu\\_yuasa\\_museum/](https://www.instagram.com/icu_yuasa_museum/)

34	<b>武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館</b>					
	武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜日、祝日、年末年始	入館料	無料	☎ 0422-53-1811
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「写真でたどる三鷹駅・武蔵境駅周辺～鈴木育男写真展Ⅱ～」(10.14～12.14) らかんスタジオ鈴木育男氏が撮影した写真を通じて三鷹駅や武蔵境駅周辺といった武蔵野市域と近接地域の移り変わりを紹介します。</li> <li>●特集展示「学校と私たち」(12.9～2.8) 市内公立小学校に系譜を持つ研蹉学舎・栄境学舎・三省学舎の設立から150周年を迎える今年、私たちと学校について考えます。</li> <li>●企画展 学校教育連携展示「武蔵野のくらしを探る」(1.13～4.18) 子育てをとりまく環境や風習の変化を、こどもの成長に関する行事や民俗資料から探ります。</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/">http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/</a></p>						

35	<b>日本獣医生命科学大学付属博物館</b>					
	本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。					
開館時間	10:30～17:00 (入館・物販は16:30まで)	休館日	日・月曜日、祝日、年末年始、大学の定める休日 (告知ない変更・臨時休館あり)	入館料	無料	☎ 0422-31-4151
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 歴史系展示室では大学史の紹介を、自然系展示室では野生動物の剥製や骨格標本の展示を行っています。</li> <li>●「日本獣医生命科学大学付属博物館第1回企画展 キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」(11.3～2024.5.31) 上野公園で誕生し、井の頭自然文化園に引っ越した後、本学で骨格標本となったキリンの「長次郎」をテーマにした展示を行います。</li> <li>●ミニ展示 博物館の活動や収蔵資料などのテーマに応じたミニ展示を実施しています。 ※見学には事前のご予約が必要です、詳細は大学公式サイト博物館ページをご覧ください ※開館日程は事前の告知なく変更になる場合があります</li> </ul> <p>【URL】 <a href="https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/">https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/</a> (大学公式サイト内博物館ページ)</p>						

36	<b>狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)</b>					
	文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。					
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日 (休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始 (12.28～1.4)	入館料	無料	☎ 03-3489-8981
<ul style="list-style-type: none"> <li>●年中行事展示 正月にはまゆ玉飾り、桃の節句にはひな人形の展示を予定しています。</li> <li>●イベント・教室 地域の生活文化や伝統文化を体験する教室のほか、子ども向けの体験教室などを予定しています。 ※詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,html">http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,html</a> 【X(旧Twitter)】 @komae_muikara</p>						

# 三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口から徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅」東口からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタ サイエンスドーム (八王子市子ども科学館)	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から駅直結 ②京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	福生市郷土資料室	福生市郷土資料室：JR 青梅線「牛浜駅」から徒歩約 7 分 福生市役所・旧ヤマジウ田村家住宅：JR 青梅線「福生駅」西口から徒歩約 7 分
9	瑞穂町郷土資料館（けやき館）	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
10	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上台北駅」から武蔵村山市内循環バス「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
11	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車徒歩 20 分
12	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②多摩モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
13	日野市立新選組のふるさと歴史館	① JR 中央線「日野駅」から京王バス高幡不動駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分 ②京王線・多摩都市モノレール「高幡不動駅」から京王バス日野駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分
14	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」から京王バス「帝京大学構内」行きに乗車し終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	東村山ふるさと歴史館：西武鉄道新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分 八国山たいけんの里：西武鉄道西武園線「西武園駅」下車徒歩 10 分
18	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ②西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分（いずれも「ハンセン病資料館」で下車）
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分、JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館」下車すぐ
20	たましん歴史・美術館	たましん歴史・美術館：JR 中央線「国立駅」南口前/たましん美術館：JR 中央線「立川駅」北口より徒歩約 6 分
21	パルテノン多摩	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
23	町田市立自由民権資料館	①小田急線「鶴川駅」5 番バス乗り場から「野津田車庫」行きまたは本町田経由「町田駅」行きで「綾部入口」下車 ②小田急線・JR 横浜線「町田駅」21 番バス乗り場から本町田経由「野津田車庫」行きまたは「鶴川駅」行きで「袋橋」下車
24	町田市民文学館ことばらんど	①小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分 ② JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分府町原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小平市鈴木遺跡資料館	①西武新宿線「小平駅」南口から西武バス武蔵小金井駅行き、もしくは JR 中央線「武蔵小金井駅」から西武バス小平駅南口行き「回本通り」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線「花小金井駅」から立川バス「国分寺駅北口」行き「共済住宅」下車徒歩 10 分
27	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑩「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
28	江戸東京たてもの園	① JR 中央線「武蔵小金井駅」北口バス 2 番 3 番乗り場から西部バス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線「花小金井駅」南口より徒歩 5 分「南花小金井」（小金井街道沿い）停留所から「武蔵小金井駅」行き西部バス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
29	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」nonowa 口から徒歩 10 分
30	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口から徒歩 10 分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
31	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口から徒歩 18 分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」からはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
32	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① JR 中央線「三鷹駅」南口または「武蔵境駅」南口から小田急バス「国際基督教大学」行きにて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで 10 分
34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」から徒歩 12 分 ② JR 中央線「武蔵境駅」北口からムーバス境西循環に乗車し、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
35	日本獣医生命科学大学付属博物館	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口から徒歩 2 分
36	狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」から徒歩 10 分 ②小田急線「狛江駅」北口から「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」（北回り）で「児童公園」バス停前